

第13回

応用計量経済学コンファレンス 開催のお知らせ

—ミクロ計量経済学の応用—

このたび、東京大学・一橋大学・大阪大学では、
ミクロ計量経済学をフレームワークとして研究している大学院生・若手研究者を集め、
2日間にわたるワークショップ形式のコンファレンスを開催します。
比較的少人数の大学院生・研究者が合宿形式で意見を密に交わすことで、
ミクロ計量経済学的手法を用いた研究を奨励することが目的です。
過去には、組織委員の他、以下のような方々に討論していただきました。

討論者(敬称略): 阿部修人、有賀健、依田高典、井深陽子、植杉威一郎、大山睦、小川一夫、
小原美紀、近藤絢子、佐野晋平、庄司匡宏、竹内幹、田中隆一、中嶋亮、野口晴子、山田憲 など

このワークショップは、東京大学政策評価研究教育センター(CREPE)による支援で開催され、
発表者及び討論者の参加費用は全額支給されます。皆様の積極的な参加を待っています。

日時 2018年 11月23日(金)、24日(土)

両日とも全日参加を原則とし、中途の参加退出はできるだけご遠慮ください。
詳細な日程は決定次第別途お知らせします。

会場 東京大学本郷キャンパス 詳細は追ってお知らせします。

募集分野 実験データを含むミクロデータを用いた実証研究であれば分野は問いません。
労働経済学、産業組織論、開発経済学、公共経済学、消費や投資、その他どんな分野でも可です。
合計7本程度の募集を予定しています。

募集対象 大学院生、ポスドク・有期契約の研究者

討論形式 各論文について、報告30分程度、討論10分、全員でのディスカッション20分程度を予定しています。
討論者は組織委員会で決定します。

応募締切 2018年 9月24日(月)

応募方法 下記ページより申し込んでください。

<https://goo.gl/forms/FncPdYpZezVhNpc93>



こちらのQRコードからも
アクセスできます。

応募者多数の場合、選考によって不採択となる可能性があります。

2018年10月10日(水)までに参加者およびプログラムを決定し、参加者にはメール等を通じてご案内いたします。